

子ども・子育て支援新制度説明会（H26. 4-5）

主な質問と回答／放課後児童クラブ関係

参考 1
平成 26 年 7 月 30 日
こども企画総務課

■放課後児童クラブ全般

N0	質 問	回 答
1	新しい制度において、放課後児童クラブはどのように変わるのか。	<p>主なものとしては、対象児童の拡大、資格を持った指導員の配置、施設などの基準の策定が挙げられます。</p> <p>これまで小学 3 年生までの対象児童が 6 年生までに拡大されますが、平成 27 年度については、4 年生以上の受け入れができないクラブが一部あります。また、保育士・教員免許所持者などの資格を持つ指導員を配置し、質の向上を図ります。</p> <p>設備や運営の基準策定により、クラブ室に必要な設備や児童 1 人当たりの面積などを定め、児童に適切な生活の場の確保を図ります。</p>
2	岡山市の今後の対応は。	<p>平成 27 年 4 月に施行される子ども・子育て支援新制度に向け、放課後児童クラブの指導員や施設の確保など様々な課題がありますが、新制度移行後の児童クラブの円滑な実施に必要な体制づくりを含め、しっかりと準備を進めて対応していきたいと考えています。</p>
3	岡山市における放課後児童クラブの位置付けは。	<p>放課後児童クラブは、安心して子育てをしながら仕事をするための両立支援として、女性の就労支援につながる重要な施策の一つであると認識しています。</p>
4	平成 26 年度は、どのような対応が行われるのか。	<p>今年度の放課後児童クラブについては、障害児受け入れ体制を充実させるための運営費補助として障害児加算を増額するとともに、対象児童の拡大に対応した施設の整備、拡充に順次取り組みます。</p>
5	岡山市では、どのように放課後児童クラブが実施されているのか。	<p>岡山市では現在、各地域の各種団体で構成される運営委員会が設置し運営する「運営委員会方式」を中心に、放課後児童クラブの活動を行っています。</p> <p>この運営方式は、それぞれ地域のニーズに応じた柔軟な対応が可能となるとともに、「地域の子どもは地域社会で育てる」という市民協働による理念の下、児童の健全育成に非常に重要な役割を果たしています。</p>
6	岡山市として、どのような課題があるのか。	<p>現状の課題としては、運営委員会の事務負担や運営責任が重いこと、必要な指導員の確保が困難であること、利用負担金や提供サービスが各クラブによりばらつきがあり、均一でないことなどが挙げられます。</p>
7	課題に対して、岡山市ではどのように取り組むのか。	<p>これまでと同様に、地域の実情に応じた柔軟な対応ができる運営委員会方式を継続しますが、市が実施主体として体制を強化し、運営委員会の負担軽減に努めていきます。</p> <p>また、指導員の確保に向けて、クラブへ指導員を紹介するマッチング等の支援を行ったり、指導員の処遇等の改善を検討しています。</p>

子ども・子育て支援新制度説明会（H26. 4-5）

主な質問と回答／放課後児童クラブ関係

8	運営委員会に対して、今後どのような支援を行っていくのか。	<p>これまで運営委員会から要望が多かった経理や事務などの実務支援について、実施主体となる市が、運営の実務を行う地域の運営委員会の負担軽減を図るために、必要な施策の一つとして実施することを考えています。</p> <p>また、将来は、市からアドバイザーの派遣を行い、指導員が抱える問題等の相談業務に当たりたいと考えています。</p>
9	岡山市では、今後どのように基準を定めていくのか。	<p>「従うべき基準」や「参酌すべき基準」など、国の基準が内閣府令で示されており、本市として、引き続き、岡山市子ども・子育て会議での協議や関係者のご意見などもお聞きし、地域の実情を踏まえて、適正な基準を条例として定めたいと考えています。</p>
10	いつ頃、基準が定められるのか。	<p>国の政省令等を踏まえ、岡山市子ども・子育て会議での協議のほか、現場や関係者等のご意見をいただきながら、本市の方針を決定し、本年9月定例市議会での条例制定を目指します。</p>
11	保護者負担金は、どうなるのか。	<p>保護者負担金の額の決定や徴収の方法については、まだ国から示されておりませんが、将来にわたって持続可能な事業とするために、今後、必要な改善の検討を行っていく中で、研究していきたいと考えています。</p>
12	児童クラブごとに預かってくれる時間に差があると聞いているが、今後はどうなるのか。	<p>岡山市子ども・子育て会議や関係者等の意見を聞きながら検討を進め、クラブ間の提供サービスの格差を無くすように、可能な限り平準化を図っていききたいと考えています。</p>
13	夏休み、冬休みなどの長期休業中のみの受け入れは、どうなるのか。	<p>現在、受け入れを行っている運営委員会もありますが、行っていないクラブについては、長期休業中の受け入れを検討いただきたいと考えています。</p>
14	制度についての広報は、今後どのように行われるのか。	<p>子ども・子育て支援新制度の施行に伴う、放課後児童クラブ事業の変更点などについては、今後、市の広報紙やホームページによる広報のほか、学校・児童クラブ等を通じて、周知を図っていききたいと考えています。</p>
15	クラブについての意見や要望は、どのように反映されるのか。	<p>岡山市子ども・子育て会議やその部会において、本市における子ども・子育て施策の現状やニーズ調査の結果、施設の利用状況、施設の配置計画策定に関する指標、放課後児童クラブの基準策定方針などに関して、ご意見をいただいているところです。</p> <p>また、児童クラブに関する条例については、本年4月末に国から示された基準を受け、地域のニーズや実情を踏まえた案とするため、岡山市子ども・子育て会議の協議やパブリックコメントなどを経て策定する予定としています。</p>
16	クラブの実態を、岡山市はどのように把握しているのか。	<p>児童クラブの実態については、調査や聞き取りなどを行い、今後、条例で定める際に必要となる指導員の資格保有状況や活動状況・時間等の状況把握に努めています。</p>

子ども・子育て支援新制度説明会（H26. 4-5）

主な質問と回答／放課後児童クラブ関係

■施設関係

NO	質 問	回 答
1	岡山市では今後、どのように施設確保を進めていくのか。	施設の確保については、個別の児童クラブごとに、小学校の余裕教室等をクラブ室として活用ができないか、教育委員会との調整を進めていますが、これらの活用が見込めない場合には、小学校に近接又は比較的近い公立幼稚園の余裕教室等の活用も視野に、施設の確保に努めていきます。
2	民間の施設を使用して児童クラブを運営していますが、岡山市として今後、改修補助を行う予定はあるのか。	児童クラブを運営する場所については、公共施設を原則としていますが、使用できる施設が近隣にない場合等には、民間施設の利用に対して家賃補助を行っています。改修補助については、今後、施設整備を進めていく中で必要に応じて検討していきます。
3	施設の確保は、平成27年4月までに完了するのか。	一度にすべての施設を整備することは、時間的にも財政的にも大変困難であると考えています。昨年度実施したニーズ調査結果等を踏まえ、今年度中に、平成27年度から平成31年度までの5か年計画「子ども・子育て支援事業計画」を策定する予定であり、この計画に沿って施設の確保を進めていきます。

子ども・子育て支援新制度説明会（H26. 4-5）

主な質問と回答／放課後児童クラブ関係

■指導員関係

NO	質 問	回 答
1	児童クラブの指導員は、資格を持った人しか、なれなくなるのか。	<p>児童クラブの指導員については、一定の資格を持った方、大学で一定の課程を修めた方、また高卒以上で児童クラブなどの児童福祉事業に2年以上従事している方が児童支援員になるとされています。</p> <p>概ね40人の児童について、2人以上の児童支援員を配置することとされており、このうち、1人は資格がある方が必要です。</p>
2	<p>指導員の確保に不安がある。</p> <p>岡山市としては、どのように指導員を確保していくのか。</p>	<p>放課後児童クラブの円滑な運営に欠かせない指導員の確保については、重要な課題と認識しており、今後、広く公募し、指導員として活動することを希望される方のデータベース管理を行うとともに、必要に応じて指導員を探しているクラブへ紹介するマッチングを行うことなども、考えています。</p> <p>また、小学校教諭経験者へもPRする予定であり、退職時の説明会や退職者の集まりなどを利用して案内していきます。</p>
3	指導員の質の向上について、今後、岡山市ではどのような支援を行っていくのか。	子ども・子育て支援新制度が施行される、平成27年度からは、資格を有する指導員を確保する必要があり、指導員の処遇改善と研修の充実を図ることなどにより、質の向上を図っていきたいと考えています。
4	現在、児童クラブの指導員は有償ボランティアとして活動しており、その多くは雇用保険や労災保険が適用されていない。今後改善されるのか。	指導員の処遇については、今後、対応を検討していきます。

子ども・子育て支援新制度説明会（H26. 4-5）

主な質問と回答／放課後児童クラブ関係

■受け入れ児童関係

NO	質 問	回 答
1	6年生まで受け入れることとなった場合、どの程度、児童クラブの児童数は増えるのか。	昨年度実施したニーズ調査を分析した結果、利用希望者数は全体で、現在より約3割程度増加するものと見込んでいます。
2	平成27年4月から、6年生まで受け入れてもらえるのか。	<p>対象児童の拡大に伴い、長期休業中や土曜日だけの利用を希望する児童の増加が予想され、すべての児童を放課後児童クラブで受け入れるには、これらに対応する指導員や施設の確保が必要になります。</p> <p>これらを短期間で確保するのは財政的にも困難であるため、体制が整ったクラブから6年生までの受入を順次、開始したいと考えています。</p>
3	岡山市の児童クラブでは、現在、障害のある児童の受け入れ人数はどのくらいか。	各児童クラブからの報告によれば、平成25年4月1日現在で、4,600人の登録児童中、278人が障害のある児童となっています。